

Eastspring Asia Now

Vol.27

食品価格からみるアジアの経済

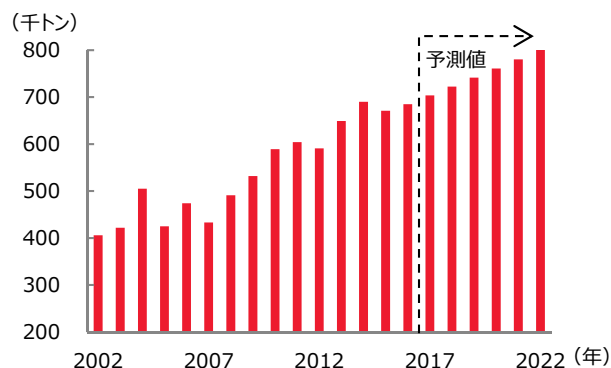
eastspring
investments

インドネシアでは牛肉価格が、インドでは玉ねぎ価格も経済指標？

インドネシアで高まる牛肉人気

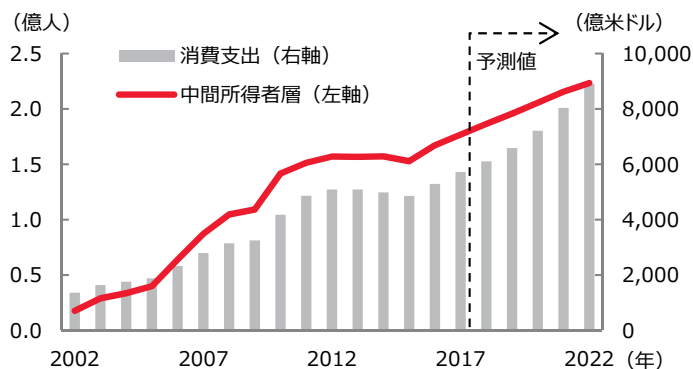
- ▶ インドネシア料理という日本ではあまり馴染みがないかもしれませんが、実はCNNトラベルの「世界で最も美味しい料理TOP50」（2017年7月発表）で、第1位にインドネシアの「ルンダン」という料理が選ばれています（寿司は第3位）。これは、牛肉をココナッツミルクとスパイスで長時間煮込んだ料理で、ラマダン（断食月）明けの大祭などでも食べられるごちそうです。今、インドネシアでは伝統的な牛肉料理の他に、ステーキや吉野家・牛角といった新しい牛肉料理が人気となっています。
- ▶ 増加する牛肉消費量の背景には、経済発展に伴う中間所得者層の拡大があります。一般的に、経済成長による所得増加に伴い、鶏肉・豚肉・牛肉の順で食肉需要が高まると言われています。インドネシアでも今までは安価な鶏肉が主体となってきましたが、中間所得者層の増加により、牛肉が一般家庭でも多く消費されるようになりました。また、インドネシアは豚肉を食べることが禁じられているイスラム教徒が多くいることも関係していると考えられます。
- ▶ この旺盛な需要に供給が追いつかず、牛肉の価格は高騰傾向にあります。インドネシア政府はインフレ率を目標範囲内に抑制するため、牛肉価格の安定を目指しています。ラマダン明けの大祭（今年は6月13日頃）が牛肉消費のピークと言われており、今年も牛肉価格に注目が集まっています。

【インドネシアの牛肉消費量（年間）の推移】



出所：OECD-FAO Agricultural Outlook 2017-2026、2017年以降は予測値。

【インドネシアの中間所得者層の人口および消費支出の推移】



出所：Euromonitor International、2018年以降は予測値。中間所得者層の人数は、中間所得者層の家計比率×人口で算出。中間所得者層は年間世帯可処分所得が、5,000米ドル以上35,000米ドル未満の所得者層を指します。

インドでは、玉ねぎの価格がインフレ率に影響

- ▶ 玉ねぎはカレーをはじめとしたインド料理に欠かせない材料で、日常的に消費されています。干ばつ時にはトラックごと玉ねぎが盗まれるなど、インド人の生活には必要不可欠な野菜です。農業用水の多くを雨水に頼っているインドでは、降雨量により収穫量が左右されるため、玉ねぎの価格は大きく変動します。インドの消費者物価指数（CPI）に占める食品の割合は約46%と高く、食品価格が物価全体に与える影響が大きいこともあり、政府は玉ねぎの価格を注視しています。
- ▶ 昨年は夏の雨季に玉ねぎの産地で大雨による洪水が起きたため、2017年後半に玉ねぎ価格が高騰しましたが、今年に入ってから、その後の収穫が順調で供給が安定し価格が低下していることから、今後のインフレ率に好影響を与えることが期待されます。

【インドの玉ねぎ価格の推移】



出所：Bloomberg L.P.、1キログラム当たりの価格。

※当資料はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社が情報提供を目的として作成したものであり、特定の金融商品等の勧誘・販売を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づき開示資料でもありません。※当資料は信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしも正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料には、現在の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、事前の通知なくこれらを変更したり修正したりすることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来を保証するものではありません。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社とは関係がありません。

180403 (01)

英国ブルーデンシャル・グループ